

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表	R3
-------------------------	----

法人名	有限会社 在宅ナースの会	代表者	小菅 清子	法人・事業所の特徴	京浜急行六浦駅から徒歩 5 分、近隣には公園が複数ある閑静な住宅街にあります。 明るい日差しが差し込むデイルームにて「いつもふくふくとした笑顔と笑い声がたえない居心地の良い空間と場所づくり」という理念を目指し業務上での実践を心がけています。通い・宿泊・訪問のサービスを柔軟に組み合わせ地域の方々の在宅生活の支援をさせていただいています。地域のボランティアさんの協力を受け笑顔の絶えない家庭的な雰囲気です。また調理専門のスタッフによる旬の食材を使った彩り鮮やかな食事や季節行事の特別メニューに利用者の皆様、大変喜んでいただいています。
事業所名	小規模多機能型ハウス ふくふく六浦	管理者	村野 延枝		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1 人	2 人	1 人	1 人	1 人	人	2 人	人	8 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	次年度も研修参加をスタッフに呼びかける。また事業所自己評価についての認識を深めていく。	研修委員を中心に研修参加を呼びかけた。全員参加とはいかなかったが参加することができ、スタッフの業務に対する知識認識が深まった。	コロナ渦の中で研修等集まることが難しかったと思うが、充実した業務が出来る様に職員の知識・認識を高めてほしい。	年数回の研修には各職員 2 回は参加するように研修委員中心に働きかけていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	ドライブレコーダーを設置したことで、危険運転防止に努める。庭で花や草木を育てて季節を楽しんでいただく。	車の運転に携わるスタッフを登録し事故・危険運転防止の意識を高められた。 夏は野菜・春秋は花を中心に栽培した。日々育つ植物を見て利用者様に楽しんでいただくことが出来た。	歩行者・車両と勢いよく降りてくる自転車との事故がないように気を付けてほしい。小学生の通学時間帯には細心の注意を払ってもらいたい。	駐車位置の固定。自転車置き場を決めて、利用者様の歩行の妨げにならないようにする。 事業所の自転車もすぐに出せるように駐輪場所を固定する。 利用者様の来所の楽しみとして今年も植物を育てる。
C. 事業所と地域のかかわり	次年度はスタッフ配置も含め参加できる環境を整え、利用者様に季節行事を楽しんでいただけるようにしていきたい。	地域行事をスタッフにも周知はしていたがコロナの影響で参加が出来なかった。	コロナウィルス感染症の流行が終息に伴い地域行事も再開すると思われるので、参加を期待している。	地域行事再開の際は、ふくふくが出来る活動を地域に提供していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	ご近所の方や薬局などと連絡を取り生活のお手伝いを円滑に行えるようにする。 昨年に引き続き地域のイベントに参加できるように取り組む。	薬局と連絡を取り合い、利用者の服薬に関する注意点など情報を共有する事が出来た。 引き続き薬局やご近所の方と連絡を取り、利用者の生活を支えていく。	地域の力を利用して、ふくふくで出来ることを増やしてほしい。	ふくふく以外で利用者に関わって下さる方の把握に努める。 ケアマネ・管理者だけでなくスタッフにも周知して、利用者様に必要な力を使わせていただけることを考えていく。

E. 運営推進会議を活かした取組み	伝達方法を改善し会議への関心を高める。 会議ででた要望助言等をどのように活動に活かせるのかをスタッフ間で考え、より良いサービスへ繋げる。	会議の様子をすべて伝えることが出来ず、スタッフへの周知が徹底できなかった。	地域の情報交換の場として有効に会議を利用してもらいたい。	コロナ渦で開催が難しい1年になると考えられるが、スタッフが会議に参加する機会を設ける。
F. 事業所の 防災・災害対策	防災訓練を日頃から心がけ、年2回にとどまらず、月に1回は避難誘導の訓練等を行っていきたい。感染症終息後も引き続き災害等に備え消耗品等の備蓄を行っていく。	コロナの影響で訓練が開催できなかった。 また午後のレクリエーションなどを利用しての訓練もできなかった。防災備蓄に関しては順調に準備を進めることが出来た。	災害時は避難の拠点としてのふくふくさんの力を期待している。自治会との連携を大事にしてほしい。	引きつづき年2回の訓練を行うとともに、昨年できなかった避難誘導訓練を活動の一環として行っていく。 備蓄品の管理・リスト化を徹底していく。